



放射線医学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001077

新潟.

三浦 至. 統合失調症薬物療法の多様な課題にどう対応するか 「統合失調症維持期の薬物療法」. 第 49 回日本神経精神薬理学会; 20191013; 福岡.

三浦 至. 今日の統合失調症研究 「今日の統合失調症研究：精神薬理学」. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20191128-30; 福島.

〔特別講演〕

矢部博興. 福島医大における統合失調症研究. Psychiatrist Forward in Hakodate; 20190511; 函館.

矢部博興. 生きづらさを生む人間関係からの覚醒. いのちの電話講演会; 20190601; 郡山.

放射線医学講座

論 文

〔原 著〕

Inomata T, Watanuki S, Odagiri H, Nambu T, Karakatsanis NA, Ito H, Watabe H, Tashiro M, Shidahara M. A systematic performance evaluation of head motion correction techniques for 3 commercial PET scanners using a reproducible experimental acquisition protocol. Annals of Nuclear Medicine. 201907; 33(7):459-470.

Ikoma Y, Kimura Y, Yamada M, Obata T, Ito H, Suhara T. Correction of head movement by frame-to-frame image realignment for receptor imaging in positron emission tomography studies with [11C]raclopride and [11C]FLB 457. Annals of Nuclear Medicine. 201912; 33(12):916-929.

Ishii S, Miyajima M, Suenaga H, Sugawara S, Nemoto A, Ukon N, Nambu T, Kubo H, Oriuchi N, Ito H. Detectability of malignant lesions by whole-body magnetic resonance imaging using whole-body integrated positron emission tomography/magnetic resonance imaging. Journal of Computer Assisted Tomography. 201907; 43(4):664-670.

Soeda S, Kyozuka H, Kato A, Fukuda T, Isogami H, Wada M, Murata T, Hiraiwa T, Yasuda S, Suzuki D, Yamaguchi A, Hasegawa O, Nomura Y, Jimbo M, Takahashi T, Watanabe T, Mizunuma H, Fujimori K. Establishing a Treatment Algorithm for Puerperal Genital Hematoma Based on the Clinical Findings. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 201910; 249(2):135-142.

Sudo H, Tsuji AB, Sugyo A, Nagatsu K, Minegishi K, Ishioka NS, Ito H, Yoshinaga K, Higashi T. Preclinical evaluation of the acute radiotoxicity of the α -emitting molecular-targeted therapeutic agent ^{211}At -MABG for the treatment of malignant pheochromocytoma in normal mice. Translational Oncology. 201907; 12(7):879-888.

黒岩大地. 【腹部 CT の読み方がわかる！】腸閉塞・消化管穿孔の CT の読み方がわかる. レジデントノート. 201907; 21(6):1089-1094.

〔研究報告書〕

山國 遼, 戸村則昭, 藤巻秀樹, 青島雅人, 三浦由啓, 鷺野谷利幸, 中里龍彦, 今井茂樹, 宗近宏次, 竹川 鉦一, 國分美加, 渡邊善一郎. 脳血管もやもや病の血管描出における, Silent-MRA と TOF-MRA の比較検討. Japanese Journal of Radiology. 201902; 37(Suppl.):4.

小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 赤谷憲一, 藤巻秀樹, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 石井士朗, 織内 昇, 伊藤 浩. MIBG が集積した GIST 症例の検討. 核医学. 201907; 56(1):100.

石井士朗, 渡邊宏剛, 山國 遼, 箱崎元晴, 末永博紀, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 黒岩大地, 関野啓史, 織内 昇, 伊藤 浩. 副甲状腺 Tc-99mMIBI シンチグラフィ偽陰性所見の検討. 核医学. 201910; 56(Suppl.):S168.

箱崎元晴, 伊藤 浩, 石井士朗, 菅原茂耕, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 山國 遼, 末永博紀, 藤巻秀樹, 黒岩大地, 関野啓史, 久保 均, 村上文伸, 阿部十成, 金井数明. [F-18]FDG-PET/MRI を用いた脳糖代謝画像の計測における減弱補正および体動補正の検討. 脳循環代謝. 201911; 31(1):140.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤 浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):448.

〔その他〕

伊藤 浩. 第 5 土曜日特集 脳機能イメージングの最前線 総論 【最新の技術】マルチモーダルイメージングの動向. 医学のあゆみ. 201908; 270(9):707-711.

研究発表等

〔研究発表〕

関野啓史, 石井士朗, 小檜山歩那美, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 黒岩大地, 伊藤 浩. バルーン併用で塞栓術を施行した腎血管筋脂肪腫の検討. 第 28 回福島県 IVR 研究会; 20190126; 福島.

高斉英彰, 石井士朗, 及川雅啓, 益田淳朗, 山國 遼, 清野真也, 樵 勝幸, 石川寛延, 金澤崇史, 佐藤孝則, 伊藤 浩. Magnetic resonance imaging(MRI)を用いた非侵襲的心筋線維化診断に関する新たな解析手法の提案 Native T1 myocardial mapping の histogram 解析. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190330; 横浜. 抄録集. CP21-4.

Ishii S, Kobiyama H, Hiruta M, Yaginuma Y, Watanabe H, Yamakuni R, Suenaga H, Kuroiwa D, Sugawara

S, Fujimaki H, Sekino H, Hasegawa O, Oriuchi N, Ito H. Courses of renal cysts that ruptured or showed rapid morphological change. 第 78 回日本医学放射線学会総会; 20190412; 横浜.

石井士朗. 後腹膜脂肪肉腫が疑われた 1 例. 第 61 回北日本核医学談話会; 20190620; 弘前.

山國 遼, 小檜山歩那美, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 末永博紀, 藤巻秀樹, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 石井士朗, 織内 昇, 伊藤 浩. Angiocentric glioma with signet ring cell ependymoma component の一例. 第 140 回日本医学放射線学会北日本地方会; 20190621-22; 弘前.

伊藤 浩, 石井士朗, 菅原茂耕, 末永博紀, 関野啓史, 黒岩大地, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 藤巻秀樹, 山國 遼, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼佑基, 長谷川靖, 久保 均, 高橋和弘, 西嶋剣一, 粟生木美穂, 右近直之, 根本彩香, 佐藤良信. 15O 標識ガスおよび PET/MRI 装置を用いた脳循環代謝諸量の測定. 第 34 回福島県核医学研究会; 20190803; 郡山.

関野啓史, 長谷川靖, 柳沼裕基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 末永博紀, 菅原茂耕, 黒岩大地, 石井士朗, 織内 昇, 伊藤 浩. 偶発的に指摘された後頸部褐色脂肪腫の 1 例. 第 48 回断層映像研究会; 20191004; 高崎.

藤巻秀樹, 柳沼佑基, 小檜山歩那美, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 石井士朗, 伊藤 浩. 診断に苦慮した副腎腫瘍の一例. 核医学談話会; 20191011-12; 仙台.

柳沼佑基, 伊藤 浩, 石井士朗, 長谷川靖, 関野啓史, 黒岩大地, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 末永博紀, 箱崎元晴, 山國 遼, 渡邊宏剛. 偶発的に発見されたフィリピン出身者の日本住血吸虫症の 2 例. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 名古屋. 抄録集. S478.

石井士朗, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼祐基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 黒岩大地, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 関野啓史, 長谷川靖, 伊藤 浩. 心アミロイドーシスの CT 所見の検討. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 名古屋. 抄録集. S495.

末永博紀, 石井士朗, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 藤巻秀樹, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 織内 昇, 伊藤 浩. GI-BONE を用いた SPECT 単体機における骨 SPECT 画像の定量値データベースの作成. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 名古屋. 抄録集. S503.

石井士朗, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼祐基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 黒岩大地, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 関野啓史, 長谷川靖, 伊藤 浩, 廣政 智, 菅原茂耕, 織内 昇. Investigation of false negative cases of Tc-99m sestamibi SPECT for hyperparathyroidism. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191101; 松山.

伊藤 浩, 久保 均, 高橋和弘, 西嶋剣一, 粟生木美穂, 右近直之, 根本彩香, 佐藤良信, 菅原茂耕, 石井士朗. O-15 標識ガスおよび統合型 PET/MRI 装置を用いた脳循環代謝諸量の測定. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191101-03; 松山.

伊藤 浩, 久保 均, 高橋和弘, 西嶋剣一, 粟生木美穂, 右近直之, 根本彩香, 佐藤良信, 菅原茂耕, 石井士朗. PET/MRI 装置および O-15 標識ガスをを用いた脳血流量、脳血液量、脳酸素摂取率、脳酸素消費量の測定. 第

62 回日本脳循環代謝学会学術集会; 20191129-30; 仙台.

〔シンポジウム〕

伊藤 浩. 認知症に関する最近の話題認知症の核医学画像診断. 第 38 回日本画像医学会; 20190309; 東京.

〔招待講演〕

Ito H, Suenaga H, Sugawara S, Kuroiwa D, Sekino H, Nambu T, Kubo H, Ishii S. Brain perfusion SPECT and FDG-PET studies in dementia. 4th Cognitive Impairment Symposium/13th Asia Oceania Congress of Nuclear Medicine and Biology; 20190509-12; Shanghai, China.

石井士朗. 胸部レントゲンの画像診断. 平成 30 年度生理機能検査部門呼吸機能検査分野研修会; 20190302; 福島.

伊藤 浩. PET 核医学エキスパートセミナー 臨床 1 脳神経. 第 19 回日本核医学会春季大会; 20190427-28; 東京.

伊藤 浩. 大会長講演 「被災地の今」 ―福島県浪江町視察―. PET サマーセミナー2019 in 福島; 20190823-25; 福島.

伊藤 浩. PET/MRI でできること. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島.

伊藤 浩. 「認知症」 アミロイドイメージング. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 名古屋.

〔その他〕

石井士朗. 呼吸器核医学の基礎と臨床. 第 19 回日本核医学会春季大会; 20190428; 東京.

麻酔科学講座

論 文

〔原 著〕

Nakano Y, Kobayashi D, Miyake M, Kanno R, Murakawa M, Hazama A. The Cytotoxic Effects of Geranylgeranylacetone Are Attenuated in the High-Glucose Condition. BioResearch Open Access. 201910; 8(1):162-168.

Liou JY, Tsou MY, Obara S, Yu L, Ting CK. Plasma concentration based response surface model predict better than effect-site concentration based model for wake-up time during gastrointestinal endoscopy sedation.